

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 豊橋市立岩田小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒440-0832
愛知県豊橋市中岩田四丁目1の2

E-mail iwata-e@toyohashi.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 402名 女子 403名 合計 805名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域連携）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○地域とともに行う活動

毎年5月下旬～6月上旬に、「クリーン大活動」という活動として、地域にも呼びかけ、児童と地域が一体となって地元の公園の清掃活動を行っている。地域の方々との交流やふれあいの場であり、地域への愛着を深める場でもある。

12月には、「岩田どんどこまつり」という行事が開催された。この行事は、子どもたちに地域の方々とのふれあう機会を多く設け、文化や伝統を大切にする心を育てることをねらいとしている。PTAの方々をはじめ、地域の各種団体が手作り遊び等の体験講座を企画してくださり、子どもたちは、地域の人たちとの交流を図った。いろいろなコーナーを体験する中で、大勢の人がかかわっていることに気づき、感謝の心を学ぶ機会にもなっている。本年度は、校区防災訓練を同日の午後に実施し、地域の方々とともに防災意識を高めた。

○外国の文化を理解する活動

本校は、ブラジル人とフィリピン人など外国籍児童が多く在籍しており、校区内に住む外国人との共生をめざして、国際理解・共生を中心とした学習をするなど、地域に根ざした教育活動を実践している。

児童会の国際交流委員会は、書き損じはがきを集め、フィリピンの子に文房具を贈るというフィリピンへの支援活動をしている。また、児童集会では、ポルトガル語とタガログ語のあいさつを全校児童に教えたり、通訳をしてくださる外国人相談員の方々の紹介をしたりした。現在はさらに、あいさつのほかにも、学校でよく使う用語を調べ、冊子を作ろうという活動を進めている。冊子ができれば、外国から編入してきた子も使うことができるし、自分たちも外国籍の友達とすぐに話ができるので、来年度に完成するのを楽しみにしている。

4年生の「総合的な学習の時間」では、外国の文化を理解する活動として、校区内でブラジルやフィリピンの店を見つけたり、売っているものを調べたりして、外国の暮らしや食べ物について興味をもった。さらに、日本との違いを意識しながら学習を進めていくうちに、日本と外国との文化の違いや共通点に気づき、「国によって生活の仕方が違うけれど、仲よく暮らしていきたい」という気持ちをもたせることができた。

また、地域から学ぶ活動として、国際学級の教員とブラジル人やフィリピン人の保護者が中心となって、料理教室を開催し、多くの児童や保護者が参加している。いろいろな国の児童や保護者が集まり、料理をして食べる活動を通して、互いの理解と親交を深めている。

○地域に伝わる日本文化に触れる活動

1年生は、「日本の遊びを楽しもう」という活動として、老人会のボランティアの方から昔の遊びを教わっている。地域ぐるみで多文化共生への取り組みをする一貫として、老人会との交流を深めながら、日本の伝統的な遊びについて再認識し、日本の伝統のよさを大切にする心を育てている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）